



岩手県立 大槌高等学校

普通	理数	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	総合
----	----	----	----	----	----	----	----	----

所在地	〒028-1131 岩手県上閉伊郡 大槌町大槌第15地割71番地1		
電話番号	0193-42-3025		
HPアドレス	note		
http://www2.iwate-ed.jp/oht-h/ (二次元コード)	https://oht-hs.note.jp/ (二次元コード)		

■設置学科・学級数・募集定員(R6)

☞ 地域探究科・2学級・80人

■全校生徒数(R6.5.1現在)

158人(1年53人、2年53人、3年52人)



■スクール・ポリシー(3つの方針)【概要】

グレード・エーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針) ～このような力を伸ばします～

- ◆意志がある(自立)
身のまわりや社会の課題をジブンゴトとして捉え、自己決定できる人材の育成
- ◆仲間とともにある(協働)
世代や地域、価値観の違いを踏まえて、協働することができる人材の育成
- ◆逆境から創り出す(創造)
困難な状況を乗り越え、新しい価値観を作ることができる人材の育成

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針) ～このような学びを行います～

- ◆三陸みらい探究(総探)、地域みらい学などの学校設定教科・科目の充実。
- ◆生徒の興味関心に応じた選択科目の設定。
- ◆研究会やボランティア活動などの社会教育での学びの単位化。
- ◆「日本版デュアルシステム」の導入をはじめとするキャリア教育の充実。
- ◆リメディアル科目を設定し、高校の学習の基礎となる学力の育成。
- ◆遠隔授業による科目の履修や通信制による単位習得などの検討。

アドミッション・ポリシー(入学者の受入に関する方針) ～このような生徒を待っています～

- ◆互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒
- ◆自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒
- ◆将来、地域や社会に貢献するために日常の学習に前向きに取り組む生徒
- ◆部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒
- ◆大槌の自然環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒

■学校の特徴

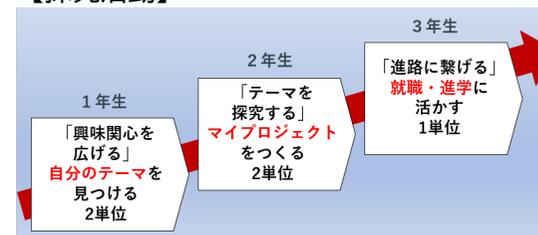
【大槌高校コンセプト】

大海を航る、大槌(ハンマー)を持とう!

予測不能な社会に漕ぎ出すにあたり、

「大槌(ハンマー)=強み」を持って、地域や社会に貢献できる人材になろうという意味が込められている

【探究活動】



【特徴的な取り組み】

- ・復興の歩みを語り継ぐ「復興研究会」
- ・東大大気海洋研で学ぶ「はま研究会」
- ・生徒自身で変えていく「校則検討委員会」
- ・校内にある「コラボスクール大槌臨学舎」
- ・全国から下宿生を募集する「はま留学」

【進路実績】

- ・国公立大学(3人)
- ・私立大学(9人)
- ・短期大学(3人)
- ・専門学校(13人)
- ・就職(27人)



【学校の歴史】

大正8年に開校し、創立106年目を迎え、「地域探究科」として新たな歴史を刻む

岩手県立大槌高等学校 特色化・魅力化ビジョン

学校教育目標

予測の難しい未来社会を主体的に生きていくために、一人ひとりの強み
 “大槌（ハンマー）”を育て、地域や社会に貢献できる人材の育成
 魅力化コンセプト「大海を航る、大槌（ハンマー）を持つ」

スクールポリシー

グラデュエーション・ポリシー [育てたい生徒像]

- ①意志がある（自律）
- ②仲間とともにある（協働）
- ③逆境から創り出す（創造）

カリキュラム・ポリシー [本校の教育活動]

地域と連携・協働した探究的な学びにより、一人ひとり個性を大切にしながら、強み（ハンマー）を見つけて育てる教育を展開

アドミッション・ポリシー [求める生徒像]

- ①互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒
- ②自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒
- ③将来、地域や社会に貢献するために日常の学習に前向きに取り組む生徒
- ④部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒
- ⑤大槌の自然環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒

特色ある教育課程

①「総合的な探究の時間（三陸みらい探究）」

- 1年生：興味関心を広げることを目的に課題解決を体験的に学ぶ。
 2年生：自ら設定したテーマでプロジェクトを企画・実行しながら探究を進めるマイプロジェクト活動。
 3年生：「進路に繋げる」をテーマに18年間で得た強みや知見を語るプレゼンテーション活動を通してこれまでの学びを総括。

②学校設定教科「地域みらい学」

- 「ひょっこり表現島（国語）」「まちづくり探究（地歴公民）」
 「くらしmath（数学）」「おおつちラボ（理科）」
 「Eパスポート（英語）」

③リメディアル科目「個別最適英語&数学」

中学校までの学習の積み残しをじっくりと学びなおすことができる。学びなおしを通して学びに向かう力や主体性を育てる。

④その他の探究（2つの特徴的な研究会）

復興研究会：定点観測や震災伝承、キッズステーションなどの活動を実施。
 はま研究会：東大大気海洋研と連携しウミガメの不消化物調査やアワビの殻の捕食痕の研究、海洋ゴミの漂着物調査など様々な研究に協力。

魅力化協働パートナー

